

静脩

1990年1月

The Kyoto University Library Bulletin

Vol. 26, No. 1, 2

地域研究と学術情報

アフリカ地域研究センター長 伊谷純一郎

アフリカ地域研究センターは、平成元年の春で創設3周年を迎えた。設置にともなう雑務と現地調査に追われた3年間であった。それでも、情報資料室の蔵書は目下整理中のものを入れて約5000点に達し、それを収納するために、センターのたった一つの会議室を犠牲にしなければならなかった。この点数は、霊長類研究所の創設10年目の蔵書数とはほぼ同じである（平成元年2月現在約7000点に達している）。購入したもののほかに、多くの方々から書物の御寄贈を受けた。この紙面を借りて厚く御礼を申しあげたい。

本センター設立の基本理念は、生態学的方法を基盤とし、自然・人・文化を鼎の三本の脚とするということであった。まだセンターの初期構想の完成には至っていないのだが、自然科学的な色彩の濃い、地域研究のセンターとしてはかなり異色な存在だといってよいのであろう。しかし私は、アフリカの地域研究は、大陸の自然にしっかりと根をおろしたものでなければならないと考えている。

現在、これといって蔵書の特質をあげることはできないのだが、民族誌と、そしてアフリカの自

然に関するもの、動植物のチェック・リストや図鑑の類が目立つ。あらゆる学問分野を網羅した均衡のとれたコレクションを目指すことがセンターの義務だと考えているが、エスノグラフィーとナチュラル・ヒストリーの充実には今後も力を入れてゆきたい。

30年前、今西錦司先生と私は最初のアフリカ調査の帰途、正確には1958年5月28日に、ロンドン大学の社会人類学者ダリル・フォード教授を訪ねた。教授は、国際アフリカ研究所（I. A. I.）の図書室に私たちを案内してくださったが、整理のゆきとどいたアフリカ関係図書の膨大なコレクションを前に、圧倒されたことを思い出す。その後、私たちのアフリカでの調査は30年間続き、いま私はあのI. A. I.のライブラリーを頭に画きながら、センターの情報資料室充実をはかろうとしているのである。

一昨年、故フォード教授の蔵書が市場に出た。アフリカの社会人類学に関する書籍を中心としたコレクションで、何とかして入手したいと思ったのだが所詮は高嶺の花で、そのうちに東京の方で買手がついたという情報が伝わってきた。

これも一昨年のこと、私の40年来の恩師小田規矩之助先生が亡くなられ、先生の全蔵書が私のところに送られてきた。先生は京都大学医学部を卒業されたあと、鳥取市で眼科医として生涯をおくられた方である。先生の蔵書の整理は、私が病床にあったために中断したままになっていたが、漢方に関する和漢籍の一部はセンターの図書に入れた。アフリカと漢方とは無関係ではないかとお考えの方があろうと思うが、私たちはアフリカの多くの民族について、医療と薬方の資料を集めてきた。これらの資料は、大型計算機センターの御援助を得て民族植物学（Aflora）と民族動物学（Afauna）という二つのデータベースをつくり、それに入力しつつある。このような民族医薬学の領域で、もっとも見事に体系化されたお手本が、漢方なのである。

『静脩』25巻3号で、田端守教授が御紹介になった薬学部図書室所蔵の貴重な「本草文献コレクション」の小さな飛地が、アフリカ地域研究センターにあることをご記憶願いたい。また、小田先生の蔵書の整理が終われば、センターの図書にとっては最初の「文庫」にしたいとも考えている。

古代エジプトの象形文字は、世界最古の文字の一つとして知られているのだが、アフリカ大陸に生きつづけた社会のほとんどは、無文字社会のままで近代を迎えた。したがって、この大陸の少なくとも内陸は、古典を欠いているのである。あえてアフリカ内陸の古典とはいえば、18世紀末に始まり19世紀に盛んにおこなわれた探検の記録ということになるであろう。その半ばは見聞録の類であるが、やはりこれを度外視して今日のアフリカを語ることはできないのである。

十数年前に、文学部の松尾尊兌教授から『闇黒亜弗利加』と題する上下2冊の古書をいただき愛読したが、これもセンターの図書に加えた。矢部五洲という人の訳で、明治26年に東京の博文館から出版されている。これは、ヘンリー・スタンリーがエミン・パシャ救出の目的で赤道アフリカを西から東に横断したときの紀行“In Darkest Africa”の邦訳なのである。この探検は1887～1888年の間におこなわれ、同書の刊行が1890年、その3年後

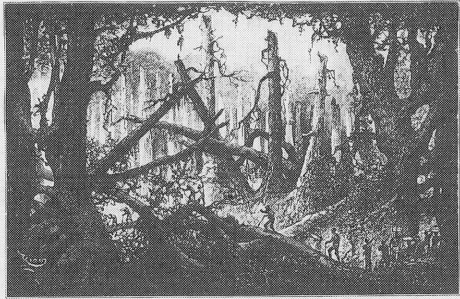
の1893年には邦訳が刊行されていたということになる。文語体の訳文は流麗の一語につきる。

「一婦人の嚮導を得て例の幾多巨木の横はる上を通過し、数個の村落を渡って次第に坂道の上に向へり。須臾にして先導の一人馳せ来りて余に向ひ、日出の方を指さして之を示すにぞ、余高きに上りて之を瞰むに、果して果して余等の希望に希望を重ねたる草原、満目の下に見はれ、山も岡も岸も谷も、眼為に迷ふばかりの緑草を以て蔽へり。顧みて後を瞰めば限りなきの森林は北東の方に向かって馳せたり。是れ則ち余等は明闇両界の境に達せしなり。故に余等は今余等が立ち居る所を距る二哩許の此森林と平原との間に突出せる山を呼んで“マオント、ピスガ”と名付たり。蓋し余等一百五十六日間、幽暗なる森林を通じ来りしの後、初めてイクエトリアの平原を認むるに至りしの故を以てなり。」

このあとスタンリーは、ピスガ山を下り、イトゥリ川を渡り、1887年12月4日には草原に足を踏み入れ、その欣喜雀躍たる感動を綴っているのだが、その場面は略す。私は、スタンリーがここを通ってから83年後に、逆に東の草原から西に向かって、ピスガ山の南を通り暗いイトゥリの森に入った。ピスガ山は、土地の人びとによってルンバと呼ばれていた。それ以来20年近くにわたって、私たちの研究はこの森の中でつづけられてきたのである。

ここにかかげた「林間の躰操」と題する絵には、樹高50mに達する原生林の中に開かれたばかりの焼畑の様子をうかがうことができる。また、この書物に登場する矮人は、今日のピグミーとは著しく異なった存在として画がれていることも注目に値する。今日、森の中の農耕民とピグミーとの間には、いわゆる美しい共生関係が見られ、この関係の起源は古いというのが定説になっているのであるが、スタンリーは神出鬼没の矮人の攻害に苦しめられている悲惨な農民について叙述しているのである。センターでは、これらの「古典」の収集にも力を入れたいと考えている。

このほか、地域研究にとって必須の地図は、赤道アフリカを中心に2,000枚が集まった。また、



主として1960年代に集められた昆虫類は、150科4,000個体の整理が終わり、60箱に系統的に展示されている。魚類や植物の標本の整理も始められ、本年中には相等の数に達する見込みである。これらの標本類は、京都大学自然博物館の計画が実現すれば、移管したいと考えている。

巨大なアフリカを相手に、巨象に槍一本で立ち向かうの図を想うことしばしばであるが、今後とも皆様の御指導を切にお願い申しあげたい。

昭和63年度高額図書の購入報告

継続購入図書

(1) 複数分野

- ・ Bibliographic Guide to Government Publications.
- ・ OECD Publications.
- ・ 国際連合・国際機関及び主要国統計

(2) 社会科学

- ・ 有価証券報告書総覧（第1部上場）

(3) 自然科学

- ・ Sadtler Spectra : Infrared Grating. Infrared Prism.

単年度購入図書

(1) 人文科学

- ・ The Arabic Manuscripts in the Library of the School of Oriental and African Studies, University of London. 1,569 microfiches & catalogue
- ・ The Classical Journal. Vol. 1 - 79 (1905/ 06 - 1983/ 84) & G. I. 1 - 25
- ・ 全国小学校連合女教員会雑誌 大正14年10月 - 昭和18年11月 18巻, 別巻 復刻版 (1987-1988)
- ・ Legislative History Internal Revenue Acts of the United States : 1950 - 1951, 1953 - 1972. 780 microfiches
- ・ Tax Reform 1986 : A Legislative History of the Tax Reform Act of 1986 : The Law,

Reports, Hearings, Debates and Related Documents. 64 vols. reprint (1987)

- ・ 国立国会図書館所蔵明治期産業翻訳書集成 万国博覧会編、農業編、工業編、産業史編 microfilm 91 reels
- ・ Afghanistan : An American Perspective. 755 microfiches & guide book
- (3) 自然科学
 - ・ CRC Handbooks. 25 titles
 - CRC Handbook of Antibiotic Compounds.
 - CRC Handbook of Neurohypophyseal Hormone Analogs. etc. (1980 - 1989)
 - ・ Progress in Clinical and Biological Research. Vol. 207 - 226, 229, 231, 233, 234, 236, 237, 239 - 244, 247 - 251, 253 (1986 - 1987)
 - ・ Advances in Experimental Medicine and Biology. Vol. 198, 200 - 207, 209 - 212, 217, 218, 224, 226, 227, 229 (1986 - 1988)
 - ・ The Louis I. Kahn Archive : Personal Drawings. 7 vols. (1987)
 - ・ NATO ASI Series F : Computer and Systems Sciences. Vol. 2-8, 10 - 36 (1983 - 1987)
 - ・ Year Book of Agricultural Co-operation : 1950 - 1985. 36 vols. reprint (1987)
 - ・ Flora Neotropica. No. 2-45 (1970 - 1986)

◎ 備付場所はいずれも附属図書館です。